

事業所名

しながくどう八田（放課後ディサービス）

## 支援プログラム

作成日

R7 年

3

月

10

日

法人（事業所）理念		私たちは、子ども一人ひとりの特性や思いに寄り添い、その可能性を最大限に引き出す支援を提供します。また、保護者の声に丁寧に耳を傾け、安心して子育てに取り組める環境を共に作ります。専門的な知識と多職種連携を活かし、科学的根拠に基づいた支援を行いながら、子どもたちと保護者が笑顔で未来を描ける社会づくりを目指します。		
支援方針		子どもたちの困り感について、脳のネットワーク機能の障害に基づいた視点と5領域を網羅した視点で捉え、アセスメントを実施します。アセスメント結果を分析し困り感の理由を分析していきます。また、活動を子どもたちのペースや特性に寄り添いながら、一人ひとりに適応した活動を提供するため、個別または小集団での活動を計画・実施します。		
営業時間		10 時 00 分から 19 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	睡眠、食事、排泄など基本的な生活習慣を形成し、健康的な生活リズムやADLの自立を支援します。さらに、社会生活に必要なIADL（金銭や時間管理、公共交通機関の利用）の視点も重視します。		
	運動・感覚	子どもの感覚特性に配慮し、安心して活動できる環境を整えます。また、感覚、知覚、認知の視点を取り入れ、感覚入力を正確に処理できるよう、感覚遊びや識別訓練などの課題を提供します。粗大運動では、前庭感覚や固有感覚を意識しながら、バランス感覚や姿勢保持を養う活動を行います。微細運動では、手指の巧緻性を高める活動を通じて、日常生活や学習に必要なスキルの向上を目指します。（作業療法士、理学療法士、言語聴覚士の指導あり）		
	認知・行動	読み、書き、聞く、見る、推測する力の土台を築くために、眼球運動や視知覚、音韻意識、記憶力を総合的に支援します。これにより、集中力や注意機能、課題処理能力を高め、学習や日常生活の困難を軽減し、自信を持って取り組める力を育みます。		
	言語コミュニケーション	子どもが見たり聞いたりした指示をしっかりと理解し、行動に移せるようにサポートします。また、話す意欲や言葉の数を増やし、自分の気持ちや考えを伝える力を育てます。必要に応じてタブレットなどの機器も使いながら、分かりやすく伝えたり、相手の話を理解したりできる力を伸ばします。		
	人間関係 社会性	遊びを通じてルールを守ることや、自分の気持ちをコントロールする練習をします。また、相手の気持ちを考える時間を持ちながら、感情をうまく切り替えたり、落ち着いた行動が取れるようにサポートします。さらに、相手の立場を理解し、気持ちに寄り添う力を育てることで、協力したり会話を楽しんだりできる関係を築く練習をしていきます。		
家族支援		家庭環境や子どもの特性をしっかりと理解するため、定期的な面談や自宅訪問を行い、課題を共有します。そして、保護者が家庭で取り組みやすい方法を一緒に考え、提案します。また、日々の取り組みを支える相談やアドバイスを行い、保護者や家族に寄り添いながらサポートします。家庭全体で協力しやすい体制を整え、安心して子育てができるようお手伝いします。	移行支援	学校の先生や他の施設のスタッフに、子どもの特性や成長の様子、支援内容をお伝えします。そのために、子どもの様子を確認したり、先生たちとの話し合いを通じて情報を共有します。子どもが次のステップに進むときに、スムーズにサポートが続けられるようお手伝いします。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントに参加</li> <li>・担当者会議への参加</li> </ul>	職員の質の向上	職員が常に高い質の支援を提供できるよう、定期的に事業所内での勉強会や意見交換の場（カンファレンス）を設けています。また、外部の研修会にも積極的に参加し、新しい知識や技術を学びます。さらに、スタッフ同士が悩みや課題を相談しやすい環境を整え、連携を深めながら支援の質を高めています
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出訓練、料理活動、季節のイベントを取り入れた活動(夏祭り,クリスマス会など)</li> <li>・保護者向け研修会</li> </ul>		